

人口	426,474人
男	209,720人
女	216,754人
(前月より)	120人減
世帯	188,417世帯
(前月より)	28世帯減
(2015年3月1日現在)	

(外国人含む)
人口と世帯



第1790号

発行・町田市 編集・政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 042・722・3111
市役所の窓口受付時間 午前8時30分～午後5時
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



今号の紙面から

3面

和光大学ポプリホール鶴川10月から一部利用料金が下がります

4面

町田市自然休暇村2015年度ツアー日程

本日の新聞には「第2部 国勢調査2015特集号」が折り込まれています。

自由民権資料館企画展

町田市指定有形文化財 新指定記念展

入館無料

問同館 ☎734・4508 FAX734・4546 (野津田町897)



①糸繰りする老婆と納税袋を持つ老人
②唐箕を使った選別作業
③商店の前に立つ少女



側面



上面

クルミ形土器 (縄文時代中期中葉約4800年前)

今年1月、「クルミ形土器」(縄文時代中期中葉約4800年前)と「細野家所蔵ガラス乾板」(151点)の2件を、新たに町田市指定有形文化財に指定しました。これを記念して、展示を行います。

「クルミ形土器」は、全国でも3点しか確認されていない貴重な造形です。獣面のような装飾と、縄文人の命をつないだ動植物が一つの土器に表現されている点が、大きな特徴です。

「細野家所蔵ガラス乾板」は、大正から昭和10年代までの小野路とその周辺の景観や、生活の様子が写されており、歴史的にも民俗学的にも貴重な資料です。

展示室1では、クルミ形土器が出土した木曾中学校遺跡の、縄文時代と平安時代の出土品を中心に、二つの時代の生活様式の違いに焦点を当てて紹介します。

展示室2では、今回指定を受けた中から選りすぐった写真約40点を、拡大したパネルで紹介いたします。

生活に困窮している方への新しい支援制度が始まります



市では、「生活困窮者自立支援法」の施行に伴い、4月1日から、自立相談支援事業と住居確保給付金支給業務を開始します。これは、生活にお困りの方(生活保護世帯を除く)の経済的な自立を支援するものです。

市庁舎1階110番窓口にて「自立相談支援事業」

市庁舎1階110番窓口にて「住居確保給付金」

「生活・就労相談窓口」を開設します。仕事や生活に困っている方に対して、専門の相談支援員が、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、相談者に寄り添いながら他の専門機関と連携し、解決に向けた支援を行います。

生活にお困りの方は、まずはご相談下さい。

○対象 市内在住で、仕事や生活にお困りの方

○受付日時 月～金曜日の午前8時30分～午後5時(年末年始、祝・休日を除く)

問生活保護課 ☎724・4013 FAX050・3101・1651

町田市青少年少女発明クラブ 青少年チャレンジ創造コンテスト 全国大会で金賞受賞



3月3日に報告のため市役所を訪れた、前列左から平本さん、草部さん、後列左から宇田さん、平上さん、中野さん、中尾さん、齊藤さん

2014年11月29日に、東京工業大学で開催された「第5回全国青少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会」

で、町田市青少年少女発明クラブから出場した「RAI号チーム」が、金賞(特許庁長官賞)を受賞しました。

町田生きもの共生プラン 生物多様性 はじめの二歩を策定

市では、人間が多様な生きものからの恵みを受け続けることができ、生きものと共に豊かに暮らしていける町田を目指して、その第一歩となる「町田生きもの共生プラン」を策定しました。

プランの実施期間は2021年度までの7年間で、町田の生物多様性を保全するため、「意識高揚」「人材育成」「協働・連携」による基盤づくりに取り組みます。

主な取り組みとして、次の事業を計画しています。

○生きものや生息環境を守るための情報等を収集・発信する



2月6日に答申書が手渡されました

また、2014年12月13日には、東京都庁の都民ホールで「第58回東京都児童生徒発明くふう展」の表彰式が行われ、同発明クラブからは4人が特別賞を受賞しました。

1月5日には、2013年に市内の第9回アイデアものづくりコンテストで金賞のものづくり大賞を受賞した、市内在住の宇田裕貴さんの作品「簡単ノスリーウェイ ステッキ」が特許を取得しました。特許取得者は2012年に続き2人目です。

問環境・自然共生課 ☎724・4391 FAX050・3160・5220

る生物多様性情報拠点(生物多様性センター)機能の構築・充実

○多様な主体の交流の場(仮称)生物多様性フォーラムを定期的に開催

○里山の手入れ・保全活動を行う市民等と協働で、里山の生物資源の利用を促進

○市民協働による生きもの調査の実施

○ビオトープ作庭イベントの開催

プランの策定にあたっては、市長から諮問を受けた「環境審議会」が専門委員会を組織し、市民意識調査やパブリックコメントをいただいた市民の皆さんの意見を参考に検討を重ね、2月6日に答申書を市長へ手渡しました。

※詳細は、町田市ホームページでご覧いただけます。また、5月に冊子を販売する予定です。